

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	5	事業名	浦安市公共下水道事業		路線又は箇所名等		江戸川左岸処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体		浦安市		
事業化年度	昭和50年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和50年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成49年度			
費用便益比 B/C	2.4	総費用	1,716 億円	総便益	4,081 億円	基準年	平成20年	供用開始 年度	昭和59年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	1,697ha	1,697ha	1,578ha
処理人口	147,000人	146,910人	155,100人
終末処理場の処理能力	—	—	—
事業費	519億円	519億円	499億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画1,697haに対して、1,578haを整備し、整備率は93%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	接続率95%である。
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	宅地開発計画があるものの、既に下水道計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	河川の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその内容	全体計画及び事業計画について、必要に応じて適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

浦安市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	5	事業名	浦安市公共下水道事業	路線又は箇所名等	江戸川左岸処理区	
事業化年度	昭和50年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和50年度
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年度	昭和59年	対応方針	継続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	514 億円		417 億円			
用地取得面積	—		—			
供用面積(延長)	1,697ha		1,300ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年	供用開始 年度	昭和59年	対応方針	継続	
B/C	2.4	総費用	1,716 億円	総便益	4,081 億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	519 億円		499 億円			
用地取得面積	—		—			
供用面積(延長)	1,697ha		1,578ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					